

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 2月 1日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ 保護者等数(児童数)26人 回収数 21枚 割合 81%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95%	0	5%	0		活動に合わせて配置を変えるなど今後も工夫して行きます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	95%	5%	0	5%		職員の配置は満たしている
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい の特性に応じ、事業所の設備等は、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切にな されているか	90%	5%	0	5%		安心・安全に利用できる ように今後も配慮し、活動 に集中できる環境を意識 して行きます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境 になっているか。また、子ども達の活動に合 わせた空間となっているか	85%	10%	0	5%		危険防止に努め心地よく 過ごせる環境を作れる様 これからも配慮して行き ます。
適切 な支 援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画*2が作 成されているか	100%	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」、「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援 内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	85%	10%	0	5%		モニタリング毎に課題や 目標を確認し個々に合わ せた支援内容を設定して います。職員間でも情報 共有に今以上に努めてい きます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	100%	0	0	0		変化に対して苦手なお子 さんもいらつやるためあ る程度の固定はありますが 柔軟に活動を組み合わ せています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫さ れているか	85%	5%	0	10%	ひまわりだけの活動で 充分だと思っている。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	68.40%	5.20%	5.20%	21%		並行連園のお子さんが多 いため設定していません。 今後、検討して行きます
保護 者へ の説 明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	95%	5%	0	0		契約時に説明している つもりですがご質問等あ りましたらお知らせくださ い
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	100%	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング*4等)が行われているか	85%	10%	0	5%	家庭での取り組みで何 かできることがあればと 期待している。	今後、職員のスキルア ップを目指し研修も積極 的に参加して行きます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができていくか	90%	0	5%	5%	あまり話す機会がない のでわからない。	送迎時や帳面等で連絡を 取っておりますがお聞き になりたいことはいつも でご相談下さい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	80%	10%	10%	0		相談事には時間を設けて 対応しておりますので何か ありましたらお知らせくだ さい。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	42.10%	31.60%	10.50%	15.80%	コミュニケーションが苦 手なので自分からの関 りが持てない。	毎月一回「親の会」を開 催しておりますのでぜひ ご参加ください。
16 子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ているか	90.50%	9.50%	0	0		相談事には時間を設けて 対応しておりますので何 以下ありましたらお知らせ ください。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	73.70%	21%	5.30%	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	95%	5%	0	5%		毎月「ひまわり通信」を発行して活動内容と等、発信しております。自己評価は集計でき次第お知らせいたします。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	85%	5%	0	10%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	31.60%	10.50%	10.50%	47.40%		火災と地震の避難訓練を毎月交替で実施しています。法人では年一回防犯訓練を行っております。訓練の様子もひまわり通に掲載して行き周知していただけるようにしていきたいと思っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42.10%	10.50%	0	47.40%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	85%	15%	0	0	・まだ話せないのわからない・慣れるのに時間が必要	楽しんで目標に沿った支援ができるようにしていきたいと思っております。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%	0	0	0	支援には親子で満足しており感謝しています。	今後もよりよい支援ができるように努めて参ります。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2月 1日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動の内容に応じて仕切りなどを利用している。	
	2 職員の配置数は適切である	○		職員で協力しながら療育を行っている。	職員の配置基準は満たしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		視覚的にわかりやすいように配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			時間を決めて掃除を行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		その日のうちに振り返りを行いどのようなようにしたらよいか話している。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		今年度より実施する。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○		自己評価の集計ができ次第、配布予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、実施に向け検討して行く。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		代表で参加した場合も共通理解を図れるようにしている。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを元に子どもの様子の様子を分析し計画を立てている。	ご家族の意向を伺い家での様子、療育での様子を踏まえ計画している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専門職にアセスメントツールを使用しての検査を行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ディスカッションしてそれぞれの意見を出し合っている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に配慮し月案を制作しプログラムを決めている。	保護者に向けて遊びの目的を伝えていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、打ち合わせを行い確認している。	月案・週案を元に職員間で共有している。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気になるお子さんに関してはその都度、話し合っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を残し振り返りや情報の共有ができるようにしている。	療育・業務・個人日誌を毎日記録している。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		変化に応じて見直すようにしている。	見直しを行い必要性を判断している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市の事業に参加したり必要に応じて連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行する前に園をお伺いして情報の共有を行っている。	移行後も必要に応じて園をお伺いして情報の共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行する前に学校をお伺いして情報の共有を行っている。	移行後も必要に応じて学校をお伺いして情報の共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		並行通園のお子さんが多く交流の場を設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	他職員に対して会議の内容等の報告をしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お迎えの際に様子をお伝えし共通理解を図れるようにしている。	連絡帳や電話なども使用し共通理解を図れる様になっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		「親の会」で相談員の先生に対応力の向上をお話しいただいている。	職員も積極的に研修に参加しスキルアップを目指して行く。	
-	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に行っている。	わかりづらい所もあるためより丁寧な説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			ガイドラインの支援内容をわかりやすく提示して行く。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談に対しては随時、時間を設けて対応している。	事業所内相談も利用していただきたいことを周知して行く。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		毎月一回、「親の会」を開催し交流の機会を設けている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「ひまわり通信」を発行し活動概要や行事などを発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	ひまわりクラブとしてはできていない。	法人としては毎年夏祭りを開催し地域に開かれた事業運営を図っている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	防犯・感染・緊急時対応マニュアルを策定し訓練している。	保護者の周知のため様子をひまわり通信などに掲載して行く。法人では年一回防犯訓練を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	地震と火災を交互に毎月一回訓練している。	法人では年二回、消防署立ち合い訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	事前に与薬依頼表を書いている。	予防接種などの情報も共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	除去食者の写真入りの表を掲示し確認できるようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	危機管理報告書を作成し事業所内で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	毎年一回、研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			現在、該当者はいないが今後必要があれば事前に十分説明し了承を得て計画に記載して行く。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年 2月 1日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ 保護者等数(児童数) 18 回収数 13 割合 72%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	91.70%	8.30%	0	0		安心安全に利用できるように今後も検討し配慮して行きます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	83.40%	8.30%	0	8.30%		計画書等に対して疑問にございましたらいつでもご相談ください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	72.70%	9.10%	0	18.20%		コミュニケーションの方法や制作、粗大運動遊び等を通して今後も支援して行きます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	58.40%	8.30%	33.30%	0		今後、検討して行きたいと思えます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	84.60%	15.40%	0	0		お迎えの際に出来事などお話ししておりますが今後も満足度が上がるよう努めて参ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	81.80%	9.10%	0	9.10%		相談事には時間を設けて対応しておりますので何かありましたらお知らせください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	41.70%	41.70%	0	16.60%		毎月一回「親の会」を開催しておりますのでぜひご参加ください。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	0	0	25%		マニュアルを作成しており対応できるようにしております。何かありましたらお知らせください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	91.70%	0	0	8.30%		ひまわり通信で情報の伝達や活動概要をお知らせしております。自己評価の結果については、集計ができ次第お知らせいたします。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	66.70%	25%	0	8.30%		
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0	0	0			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	58.30%	25%	0	16.70%		それぞれのマニュアルを作成しており自信と火災の訓練を毎月交替で実施しています。法人では年一回防犯訓練を行っています。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33.30%	41.70%	0	25%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0	0	0		
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0	0	0		今後もよりよい支援ができるように努めて参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 2月 1日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		活動内容に応じて仕切りなどを利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		職員で協力しながら療育を行っている。	職員の配置基準は満たしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		視覚的にわかりやすいように配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		その日のうちに振り返りを行いどのようにしたらよいか話している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今年度より実施する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>		自己評価の集計ができ次第、配布予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		今後、実施に向け検討して行く。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		代表での参加の場合も共通理解を図れるようしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		アセスメントを元に子どもの様子やニーズを分析し計画を立てている。	ご家族の意向を伺い家での様子、療育での様子を踏まえ計画している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>			専門職にアセスメントツールを使用して検査を行ってもらっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		ディスカッションしてそれぞれの意見を出し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		季節に配慮し月案を作成しプログラムを決めている。	保護者に向けて遊びの目的などを伝えて行く。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		毎日打ち合わせを行い確認をしている。	月案・週案を元に職員で共有している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		気になるお子さんに関しましてはその都度、話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		日々の記録を残し振り返りや情報の共有ができるようにしている。	療育・業務・個人日誌を毎日記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		変化に応じて見直すようにしている。	見直しを行い必要性を判断している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	<input type="radio"/>		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	<input type="radio"/>	移行する前に園にお伺いして情報の共有を行っている。	移行後も必要に応じて園をお伺いし情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			現在、該当者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	多方面からの利用のお子さんが多く交流の場を設けていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	児童発達支援管理責任者が参加している。	他職員に対して会議の内容を報告して行く。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	お迎えの際に様子をお伝えし共通理解を図れるようにしている。	補足があった場合電話なども使用して共通理解を図れるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	<input type="radio"/>	「親の会」で相談員の先生に対応力の向上をお話していただいている。	職員も積極的に研修に参加しスキルアップを目指している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	利用の契約時に行っている。	わかりづらいところもあるためより丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	相談に対しては随時、時間を設けて助言を行っている。	事業所内相談も利用していただきたいことを周知して行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	毎月一回「親の会」を開催し交流の機会を設けている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	毎月「ひまわり通信」を発行し活動概要や行事などを発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	<input type="radio"/>		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>	ひまわりクラブとしてはできてない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		それぞれのマニュアルを作成し訓練している。	保護者への周知のため様子をひまわり通信などに掲載して行く。法人では年一回坊は訓練を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		<input type="radio"/>		法人では年二回消防署立ち合い訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		年一回、研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				現在、該当者はいないが今後、必要があれば事前に十分説明し了承を得て計画に記載して行く。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		除去食者の写真入りの表を掲示し確認できるようにしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		危機管理報告書を作成し確認できるようにしている。	